

ドイツ営業所レポート 2021年 - 6月

ゲーテパークお元気ですか 一回目のワクチン接種を受けたドイツ営業所のUです。

ワクチン接種も少しずつ進みコロナ陽性者もやっと減少傾向になり、飲食店の通常営業が7月から許可される予定で、状況が少し改善されてきたドイツです。今回は政治・行政編をお話しいたしましょう。

首相はご存じメルケル首相ですが、国家元首は大統領です。現在は元外相のシュタインマイヤー氏です。大統領は政治的に中立とされていますが、国会議員による選挙で選ばれるので、基本的に与党側寄りの閣僚経験者、最高裁長官経験者などが大統領に就任します。過去、在職時代の不適切発言や不明瞭経理を追究されて辞任する例もあり、残念ながら権威はそれほど高いとは言えません。

二院制の議会政治は日本と同じですが、伝統的に長期連立政権が続いています。私がドイツに暮らして36年ですが、この間首相はコール、シュミット、そしてメルケルの3人だけです。日本では20人以上交代していると思います。

政権の長期化は内政の仕組みと関係しています。ドイツ連邦共和国首相の任務は、外交とドイツ連邦を構成する13の州政府と3都市、合計16の広域自治体の政策の調整にあります。内政に関するほとんどは州首相の下、州政府が担当します。例えば、今回のコロナ対策では、各州政府が規制を指令し、その総体をメルケル首相が周辺国に説明、調整する、というような役割です。過去、連立政権の組み合わせで政争となり、3か月近く首相が決まらず、組閣のできない空白がありましたが、国家運営に問題が無かったのは州政府の集合体である連邦国家という政体のおかげだったと思います。

日本でも道州制導入が議論されることがあります。ドイツの連邦州は中世以降存在していた各王国の領土支配を元にしています。フランクフルトはヘッセン州にありますが、その範囲はヘッセン王国の領地の継承です。仮に日本の47都道府県を16広域自治体に統合する場合、どんな統合が考えられるのでしょうか？そんなお題は大学や企業の入試・入社試験の論文に最適だと思います。理由を述べるには歴史や地理に関する理解が深く求められるからです。

日本でも文化庁の京都移転が決定され、また災害対策として、東京以外にも首都機能の一部移転を検討すべきではないかとの議論があると思います。ドイツの首都はベルリンで、議会や内閣府はもちろん同市にありますが、いくつかの重要機関はドイツ各地に分散配置されています。フランクフルト空港はドイツ欧州のハブ空港であり、ドイツのほぼ中央部で鉄道でも東西南北の路線が集結しています。ハンブルグはもちろん最大の港湾都市であり、ミュンヘンには特許に関する機関があり、最高裁に相当する憲法裁判所はカールスルーエ、環境関連機関はフライブルグ、エリザベス女王も出迎えた迎賓館に相当する宮殿はケルン郊外にあります。連邦を構成する各州が共に発展するように、また特定の都市、地域に人口が集中しないように配慮された結果です。当然各州、都市間の往来を容易にするため高速道路、アウトバーンが縦横に整備されているわけです。なので次は交通編をご報告したいと思います。

ドイツについて、また少し知っていただければ幸いです。

BUNDESREPUBLIK DEUTSCHLAND  
2007



ドイツ連邦 13 州と 3 都市の色分け地図

フランクフルトを流れるマイン河と高層ビル



ベンツ博物館にある故ダイアナ妃のベンツ



ジンスハイム博物館のコンコルド



ムンスター戦車学校にあるパンサー戦車



ドイツの迎賓館 アウグストゥスブルグ宮殿